



社会福祉法人 豊寿会 障害者支援施設  
最上ふれあい学園



2023.5  
No.  
**101**

広  
報

# とっきび

- 発行／最上ふれあい学園
- 編集／最上ふれあい学園広報委員会

広報誌  
「とっきび」  
リニューアル  
しました。



前森高原 いち髪の木 (シャンプー「いち髪」CM撮影の木にて)

最上ふれあい学園

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4467  
TEL 0233-45-2236 ・ FAX 0233-45-2011

ホームページ <http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/> メールアドレス [mogamifg@vega.ne.jp](mailto:mogamifg@vega.ne.jp)



### 新年度のご挨拶



園長  
松井 平喜

「みつけよう、小さな変化、その人らしさ」  
～ 心も体も豊かな生活を目指して ～

お陰様で、最上ふれあい学園は、平成2年の開所から34年目を迎えました。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れる毎日であり、昨年秋には施設内クラスターが発生し関係者の皆様には多大なご心配をおかけいたしましたこと、心からお詫び申し上げます。

さて、最上ふれあい学園の令和5年度のスローガンは、「みつけよう、小さな変化、その人らしさ」～心も体も豊かな生活を目指して～と致しました。

利用者さんが、心も体も豊かな生活を送るためには利用者さんの特性、変化、その人らしさを理解することが重要であり、その上で、利用者さんの意思や希望を的確に把握し、また能力や特性を尊重し、全職員の共通認識と高い倫理観をもって組織（チーム）で支援することを大切にまいります。そのためには、現場における支援者の心のケアをはじめとし、支援に必要なスキル、知識、技術の習得やチームで支える視点を養い、質の高いサービスの提供をおこなってまいります。

感染症対策については、今後とも重要な課題ではありますが、利用者さんの外出や行事の制限、ご家族様の面会等についても過剰な対策とならないよう留意していきたくと思います。今後は、ウイズコロナを取り入れた事業について、具体的な方針を示しながら推進を図っていきたくと考えています。ここ数年はコロナの環境下での経済の停滞感や人材不足の拡大、さらには物価高騰など、福祉の業界においても数々の経営課題が山積する多難な時代ではありますが、積極的な働き方改革の推進や、AI・ICT・IOT機器導入による業務の効率化促進、また職員が快適に働き続けられる環境整備と待遇改善を図ってまいります。

最後に、自分自身の成長も実現でき、他にも誇れるような職場づくりのため、学園はじめ職員一人ひとりが、各自の職務や役割に責任をもって取り組む努力をしてまいります。今後共、関係各位皆様方の当施設への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



副園長として  
副園長  
菅原 正浩

令和5年の人事異動で、副園長の職を命ぜられました。ふれあい学園開所当時から勤務させていただき、33年が経過しますが、これから松井園長から様々な面で、施設経営について勉強させていただきました。安全で安心できる生活の場をしっかり守り、保護者の皆様から、ますますの

ご指導をいただきたいと思っております。コロナ禍により、サービスの制限を余儀なくされた部分もありますが、今後はウイズコロナを取り入れた事業を推進していかねばなりません。権利擁護や関係法令の遵守につきましても、施設経営の中でも大切な部分であります。利用者さん一人ひとりの、その人らしさを尊重することが、私たち職員の使命と考えております。知識も技量もまだまだ未熟なわたくしですが、皆様からのご指導ご鞭撻を頂きながら勉強させてもらおうつもりです。今後ともよろしくお願いいたします。



支援主任 高橋 洋之 支援係長 齋藤 弘治  
支援課長補佐 菅原 笑子  
支援主任 沓澤未菜巳 支援係長 菊池真喜子

今回昇進辞令を頂いた職員です。利用者さんが楽しみをみつけ、安全に安心して生活できる施設を目指し、また家族の皆様からも信頼を頂ける施設作りを、職員一人一人の力を合わせ、チームワークを大事にし、日々精進してまいりたいと思います。今後共、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

代表 支援係長 齋藤 弘治

本館「東棟」男子



こぶし・くるみ・かつら



あかしや



本館「東棟」女子



すみれ・りんどう



たんぼぼ・すずらん



いちよう・からだち

東棟は男女合わせ40名の方が生活しており、年齢の幅はありますが皆さん元気に毎日を過ごされています。主な日中活動は個別での歩行となっておりですが、時々ドライブなどを取り入れ楽しい時間も過ごしていただいております。これから個々に合わせた活動の充実を図っていただきたいと思います。

支援係長  
大場 千恵

本館「西棟」



西棟は、男子10名・女子10名の計20名で生活しています。車椅子利用者の方や静養や常に体調観察が必要な方もいるため、静かな居住棟になっています。日中活動では、アイロンビーズや塗り絵など居室内でも行え、余暇時間にも活用できる内容を準備しています。晴れた日には園外の散歩を行ったり、日々の生活をゆったり皆で楽しく過ごしている西棟となっております。

支援係長 齋藤 弘治

自立訓練棟「朝陽の家」



訓練棟の利用者の皆さんは、東棟と西棟の二か所に分かれて西棟は作業活動を中心として生活を送り、東棟では生活活動を中心に生活を送っています。活動範囲には差はありますが、食堂で皆さん一緒に食事をしたり、棟での活動も皆で一緒に送ることにより和気あいあいと仲良く生活しています。

支援係長 東海林 篤

### 各居住棟活動のご紹介





手作りおかし♡



ドライブへ行って来ました。



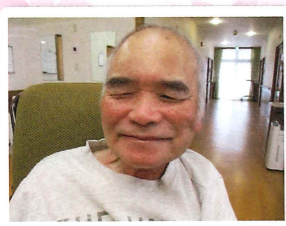
お花見 今年の桜もキレイ~!!



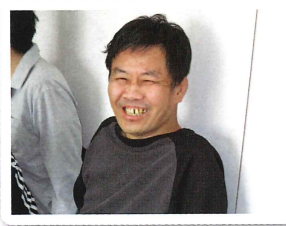
# 観桜会



カラオケを楽しみましたよ♪



お昼の手作りお弁当



## 講習会



### AED使用 心肺蘇生法

消防署東支署の阿部さんに学園にお越しいただき心肺蘇生法について学びました。AEDの使用上の注意や、現場の環境や患者の年齢、性別による注意点を聞きした後、職員同士が組になり、実践を想定して本番さながらの心肺蘇生を行いつつ、様々なアドバイスを受けることが出来る大変貴重な機会となりました。

支援員 佐藤 義浩



スキーに乗って



豆まきを行って



今年も雪まつり始まりました!



たこあげ



ソリに乗って



モービルボートに乗って



## 第33回 雪まつり



2月9日(木)にふれあい学園三大行事、第33回の雪祭りが開催されました。

今年も、コロナ禍での開催となり万全のコロナ対策のもと雪祭りを開催しました。今年も、雪不足の心配なく、晴天にも恵まれた雪祭りになりました。雪の中での生活にも慣れており、一人ひとりスキーを楽しんだり、スノーモービルに乗ったりとアトラクションを笑顔で楽しむことができました。寒さで冷えた体には、お汁粉や豚汁は格別の味でした。お柴灯の火に来年こそは、皆でコロナが落ち着き以前同様の生活を過ごせるようにと祈りました。怪我無く行事を行えたことに皆様に感謝申し上げます。(支援員 青柳 颯)



お柴灯



カルタとりをしました



お昼のお弁当





- 紅梅荘 ● 最上ふれあい学園
- やすらぎ ● さくら

# 職員募集

若い世代・子育て世代・中高年世代のニーズに合わせて働いて、やりがいを感じられる仕事です。

## 募集職種

- 介護員 ■ 看護職員 ■ 調理員
- 支援員 ■ 主任介護支援専門員

## 採用人数

3名～4名(正職員/臨時職員)等

## 待遇

- 社会保障/通勤手当/夜勤手当(1回5,000円)退職金制度/資格取得助成制度等
- 賞与年2回(・正職員4.4ヵ月以内)・臨時職員3ヵ月以内)
- 処遇改善手当:職種・資格に応じ支給します

- お電話にてお気軽にお問い合わせください。
- 1ターン、Uターンの方もご相談ください。

TEL.0233-43-3661 (担当/紅梅荘:石山)

社会福祉法人 豊寿会 法人事務局  
〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町73-3  
TEL.0233-43-3661 FAX.0233-43-3663

## ご冥福をお祈りします

最上ふれあい学園を利用されていた福岡健二さんが3/19にお亡くなりになりました。健二さんの思い出はいつまでも私達の心の中に残っています。安らかに眠り下さい。



いよいよ令和5年度の最上ふれあい学園の事業が始まるにあたり、昨今のコロナ事情も徐々にコロナ禍以前の様相に回帰しつつあります。この3年間、利用者様をはじめ、ご家族や地域の皆様に様々な行動制限の皆様にご迷惑をありがとうございました。日々余儀なくされましたが、日々ニュースで刻々とコロナウィルスの足音が学園へと近づく最中、実際に学園でクラスターが発生し、これを全職員が一丸となって乗り越え、幸いにも重症者が現れなかったことが何よりの安堵でありました。今年度は学園としても様々な部分で規制緩和されますが、利用者さんご家族、そして地域の皆さんとの「ふれあい」を少しづつ取り戻していけるよう邁進していきたいと思っております。

広報委員会一同

## 異動職員



支援員 山田 淳子  
やまだ じゅんこ

やすらぎより異動してきました。早く仕事に慣れるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



支援員 島 美人  
しま みと

やすらぎの家から異動してきました。明るく元気ををモットーに頑張りたいと思います。



支援員 岸 健一郎  
きし けんいちろう

やすらぎより異動してきました。精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。お手柔らかに!



支援員 加藤 美喜  
かとう みき

紅梅荘より異動してきました。利用者様と馴染みの関係になれる様頑張ります。よろしくお願いいたします。



支援主任 大類 敦子  
おおるい あつこ

やすらぎの家より5年ぶりに戻りました。趣味の「太鼓」のように利用者さんの奏でる音色に「共鳴」しこころの「ふれあい」を通して「和顔愛語」に努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 新職員



非常勤嘱託  
柴崎 和子  
しばさき かずこ

以前は、老人のデイケアに勤務していました。この度、地元の最上町に戻って参りました。宜しくお願いします。



支援員  
岸 二千翔  
きし にちか

福祉の仕事は初めてです。縁のある土地で働きたいと思い志望しました。よろしくお願いいたします。

## 編集後記

いよいよ令和5年度の最上ふれあい学園の事業が始まるにあたり、昨今のコロナ事情も徐々にコロナ禍以前の様相に回帰しつつあります。この3年間、利用者様をはじめ、ご家族や地域の皆様に様々な行動制限を

